

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 大和

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 12 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	1.利用者情報一覧表へ入居者の車いすの使用状況(半身写真等)と介護保険・医療保険の情報が記載されていない。 2. 備蓄品の消費危険の記載が未記入であり、また点検日が決まっていない。 3. 避難時の避難確認方法が判り辛い、またハザードマップを入手していない。	1.利用者情報一覧表へ車いすの使用状況、介護保険・医療保険の情報の記載を行う。 2. 備蓄品の消費期限の記載及び管理を行う。 又、点検日を決定する。 3. 避難時の合図を判りやすいものへ変更し、ハザードマップを入手する。	1.現存する利用者情報一覧表の一部内容を変更し車いすの使用状況、介護・医療保険の記載を行う。 2.備蓄品の担当者を決め管理を行う。又点検日については防災の日(9/1)とする。 3. 入居者の居室入口の表札を床に落とすことで避難終了の合図とする。又即座にインターネットによりハザードマップを入手、掲示する。	3 ヶ月
2	5	1.玄関のセンサー使用について、重要事項説明書への明記がない。 2.転倒防止の為に利用しているセンサーの利用について同意書を取っていない。	1.重要事項説明書に明記する。 2.転倒防止の為に使用しているセンサーについて同意書を作成する。	1.ご家族に説明を行うと共に、重要事項説明書への記載を行い、理解を深める。 2. 転倒防止の為に利用しているセンサーについて、ご家族と話し合いながら、理解を深め、その結果として同意書を残していく様にする。	3 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。